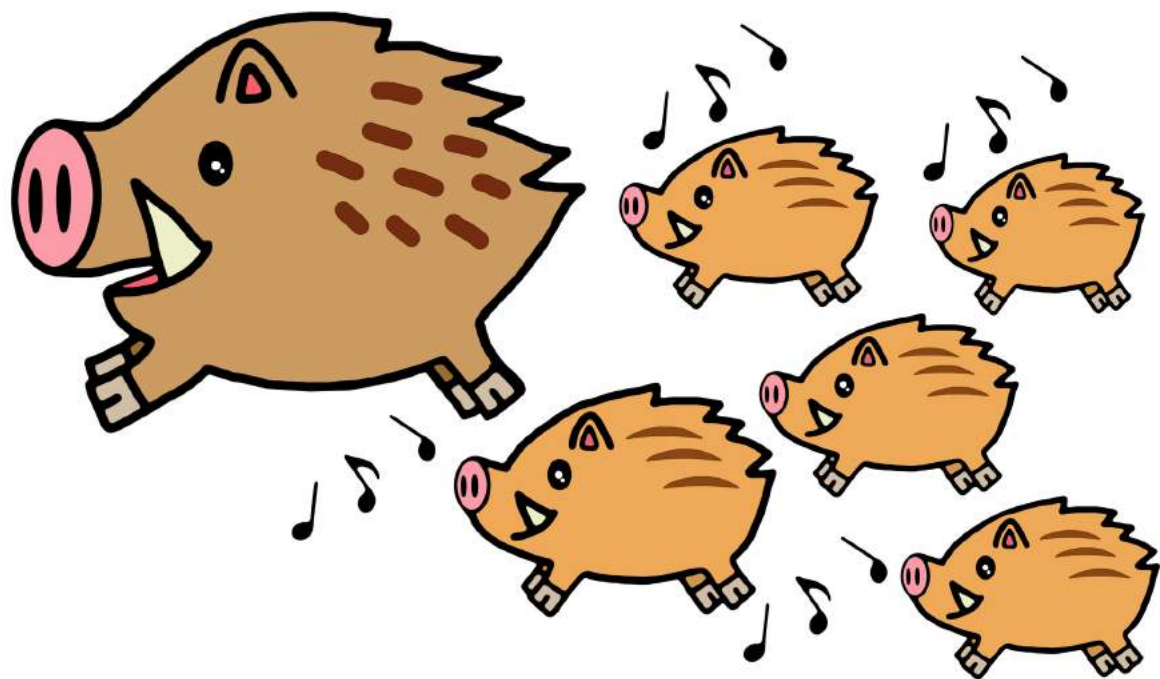


サンプラザ

number 78 / 2019.1.10



新年のごあいさつ 院長 神吉 和重

加齢と心臓 名誉院長 佐々木 孝

新札幌循環器病院研究発表会開催

医療安全研修

感染勉強会を実施しました

医療のげんば紹介【医師事務作業補助編】

忘年会を開催しました

金博士の『本音で語ろう』"咳と礼儀"

総合診療科 金 有世

お知らせ「DPCデータに基づく病院指標を
当院ホームページに公開しています」

医療法人 **サンプラザ** 新札幌循環器病院

新年のごあいさつ

院長 神吉 和重



明けましておめでとうございます。

皆様の健康とご多幸をこころよりお祈り申し上げます。

自然災害からは縁遠いと思われていた札幌ですが、最近秋になると台風があたりまえのように通過して、被害も見られるようになりました。昨秋には思いもかけない震災に見舞われました。市内の一部では液状化現象が見られ、住民が避難生活を余儀なくされるという事態に陥りました。当院では建物の被害はありませんでしたが、ブラックアウトと流通の停滞で右往左往しました。数日で復旧したために大事には到りませんでした。あれが長期に続いていたらと考えるとぞっとします。高度な医療を提供しつつ事故を回避する医療安全は、われわれ医療人の永遠のテーマですが、環境の急な変化においてもそれを維持していかなければならない、ということに改めて考えさせられる出来事でした。“備えあれば憂いなしの具現化”という大きな宿題が与えられました。

去年は心不全診療ガイドラインが改訂発行されました。そこでは、当院の治療対象疾患である、高血圧症、高脂血症、糖尿病、腎機能障害などが心不全へつながるため、それらの予防治療が大切であることが示されました。さらには心不全が慢性疾患（完全に治ることなく、少しずつ悪くなってしまう疾患）であるため、長期に継続して支えていく医療の重要性が強調されました。去年の年始のご挨拶では、地域医療機関連携をテーマとして上げましたが、今年もこれを継続し、循環器（心臓血管）疾患治療の地域における中核病院としての役割をしっかりと担っていきたいと思います。

いよいよ平成もあとわずかとなりました。あらたな時代を迎えてもこれまでの基本方針を変えることなく、今年も地域のみなさんの生き生きとした日常をささえる病院でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

加齢と心臓

名誉院長 佐々木 孝



今年の7月20日、厚生労働省が公表した日本人の平均寿命は、男性81.09歳、女性は87.26歳で過去最高を更新いたしました。

大変喜ばしいことではありますが、健康寿命との差は男性で約9年、女性では約12年もの隔たりがあります。人間の体は全て加齢により変化をしていきますが、加齢による心臓の変化を知ることで、平均寿命と健康寿命の隔たりを少しでも縮めることに役立てば、と思い今回はこのテーマでお話します。

心臓の加齢変化として第1に上げるのは、心筋と言う筋肉の老化です。年をとるとともに心筋細胞は少しずつ減少し、減った部分は繊維細胞で置き換わるために柔軟性が失われていきます。また、心筋と心筋の間の部分は間質と呼ばれますが、ここに脂肪やその他の異物が沈着し心臓の壁が厚くなります。厚くなると広がりが悪くなり血液を吸い込む力が弱ってしまいます。そのため運動などで負荷がかかると肺や下肢にうっ血が起こりやすく、呼吸困難やむくみなど心不全が起こりやすくなります。

2番目の変化は、心臓内で血液の逆流を防ぐ弁や弁の周囲にカルシウムが沈着したり弁が厚くなって動きが悪くなったり、逆流が生じたりしてきます。

心臓は規則正しく、1日に10万回以上収縮と拡張を繰り返していますが、このリズムは洞結節と言われる心臓のペースメーカー細胞によって作られ、刺激伝道系という特殊な心筋によって心臓各部位に伝えられ心臓を動かしています。このペースメーカー細胞の数が加齢とともに減少したり、動きが悪くなったりすると不整脈が出てきます。これが3番目の変化です。

4番目の変化は冠動脈の変化によるものです。動脈硬化が原因となることがほとんどですので血管の老化と関係してきます。「人は血管とともに老いる」という名言を残したのは19世紀の内科医、ウィリアム・オスラー先生です。血管の老化が全身の老化の根本的な原因になります。

このように加齢による変化を受けた心臓や血管を持つ高齢者は、高血圧、不整脈、心臓弁膜症、心不全などの疾患にかかることが多くなります。

加齢による変化だから仕方がないのでしょうか？ そうではありません。生活習慣を変えることで老化は遅らせることができます。たとえば、カロリーを制限するだけで心臓、血管の病気を減少させることがサルの動物実験で証明され、ヒトでも、ワシントン大学の研究でカロリーを制限した食事を取った人たちが、そうでない人たちと比べ心臓の機能が15歳若かったと言う結果が得られています。心臓や血管の病気を増やす喫煙、糖尿病、肥満などを避けるような生活習慣を心がけるだけで、健康寿命と平均寿命の差を縮めることが出来、“ピンピンコロリ”といった理想的な終末を迎えることも夢ではありません。



平成30年度 新札幌循環器病院 研究発表会開催

平成30年12月15日(土) 13時30分より、厚別区民センター 区民ホールにおいて「新札幌循環器病院研究発表会」を開催いたしました。当日は職員73名が参加し、清水副院長の開会挨拶のあと、各部署より13演題の研究発表がありました。

今年で4回目となるこの研究発表会は、医療業務の見直し、職場環境の改善、実際の業務内容の報告など、患者さまへより安全な医療を提供し、各部署の連携強化をはかるうえで大変有意義な会となっています。

日々の多忙な業務の中で研究を行い、各部署の代表として参加した発表者は、みな緊張した面持ちで真剣に発表を行っていました。活発な質疑応答もあり、それぞれが他部署への理解を深めることができました。

最後に神吉院長からの総評があり、約2時間30分の研究発表会を終えました。

今後も、職員がそれぞれの立場で常に問題点を考え、日々研究に取り組み、患者さんへより良い医療を提供する体制づくりを行ってまいります。

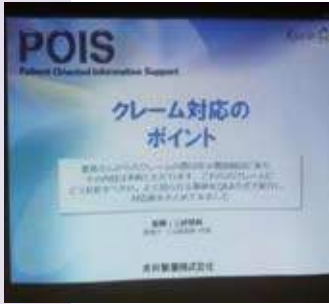
<発表演題>-----

- 『 T B T法を用いた心臓C T検査の造影プロトコルの検討 』
放射線科 和田 将慶
- 『 臨床工学技士の業務と役割 』 臨床工学科 森本 恭彰
- 『 心エコーのエキスパートを目指して ～左室長軸断面だけで疾患を想定～ 』
臨床検査科 加藤 遥
- 『 意外と知らない心臓血管外科のリアル 』 医 局 藤井 明
- 『 緊急心臓手術の患者受け入れ準備の実践的な手順書の作成
～行動の可視化と時間管理のマトリックスを応用して～ 』
手術室 松本 奈央
- 『 コミュニケーションツールとして「サンキューカード」の有効性
～フィッシュ哲学を導入して～ 』 3病棟 田上 友美
- 『 CGMを導入してみえたこと 』 外 来 万年 聖代
- 『 「フィッシュ哲学」における職場環境の活性化 』
2病棟 佐藤 文香
- 『 A病棟におけるシャントトラブルに至った患者の実態調査
～シャントトラブルスコアリングシートの再検討～ 』
透析室 中山 貢美
- 『 入院時持参薬管理における薬剤師の関わり 』
薬剤科 村田 奈々絵
- 『 退院後1か月の運動は、体力が最も増大しやすい期間である 』
リハビリテーション科 粥川 明日佳
- 『 予約専用電話の普及について 』 医事課 土井 美沙希
- 『 電気料金削減への取り組みについて 』 総務課 宮田 裕介



医療安全研修

医療安全管理者 手術室科長 藤原 睦



全職員を対象とした平成 30 年度の第 2 回医療安全研修を開催しました。テーマは「クレーム対応のポイント」で、10/15 と 10/29 の 2 回に分けての開催でした。



病院において、緊張や不安などから、患者さんが普段とは異なる精神状態となっているケースは少なくありません。職員と患者さんの間で心の交流というべき温かなコミュニケーションを積極的に取ることで、小さな不満や不安をいち早く感知できることに繋がることを改めて感じることができました。忙しい時こそ、笑顔を忘れずにコミュニケーションを取る事で、信頼と信頼で結ばれる医療現場になることを目標に努力していきたいと思っております。

医療安全イメージキャラクター



また、患者さん用意見箱を 1 階正面玄関横に設置しており、自由にご意見を寄せて頂く体制をとっています。頂いたご意見は、より良い病院作りのための参考とさせていただきますのでご協力をお待ちしております。今後も、定期的に安全に関わる研修を行い、安全性の向上に努めていきたいと考えています。

感染勉強会を実施しました



平成 30 年 11 月 12 日 (月) に「院内感染防止対策～手洗い・インフルエンザに関する感染対策～」をテーマに勉強会を開催しました。この勉強会は、院内感染対策委員会が主催し、健栄製薬様を講師に迎え職員 80 名が参加しました。風邪やインフルエンザ予防に大変役に立つ内容でしたので、みなさんも是非ご参考になさってください。

医療機関で行う感染対策としては、手洗いを始めとし、手袋・マスク・ゴーグル・ガウン・プラスチックエプロンの着用など、状況に応じた対策が必要です。

接触感染は、鼻をかむ・くしゃみ・咳を手で覆う・つり革などに触れるなど、日常で行う行為からバイ菌・ウイルスが手に移動し、目・鼻をこすったり、食事の際に体内に侵入して感染してしまいます。感染経路の遮断には、手洗いが最も簡単で効果的です。基本は石けんよりもアルコール製剤を用いた方が有効で、感染源ともなる手荒れを防ぐのにも効果があります。

インフルエンザは、予防接種から抗体が出来るまでには 3～4 週間かかります。また、インフルエンザの流行は 1～3 月なので、出来るだけ 12 月中旬までに接種しておくことが理想です。今後、心掛けておくと良いと思います。感染対策としては、咳・くしゃみが出るときはマスクを着用し、マスクが無い時はティッシュやハンカチで口を覆い、鼻をかんだ後や咳を手で覆った場合は手洗いを心掛けましょう。



医療のげんば紹介

【医師事務作業補助 編】

第11回目は「医師事務作業補助者」の仕事を御紹介いたします。

Q：「医師事務作業補助」とは、どのような仕事ですか？

A：医師の業務負担を軽減し、医療の質の向上を目的に、さまざまな面でサポートを行う仕事です。
近年、医師の業務負担の多さが問題視されています。医師事務作業補助者が医師の事務業務を代行することにより、医師が診療や手術などの医療業務に時間を多くあてることができるよう、当院でも医師事務作業補助者が誕生いたしました。

Q：当院での、実際の業務内容を教えてください



A：診察時のサポートとしましては、患者さんをお呼びして診察室へご案内したり、医師の指示に基づき、検査オーダーを始めとした電子カルテへの代行入力などを行っています。

また、患者さんより御依頼がありました診断書や他院などへの診療情報提供書、官公庁へ提出する各種書類などの作成補助・記載等も、医師事務作業補助者としての重要な業務です。

＜医師事務作業補助者よりみなさんへ＞

「医師事務作業補助者」は、まだまだみなさんに知られていない職種かとは思いますが、医師の業務負担を軽減することにより医療が円滑に進み、患者さんが安心して医療を受けられるよう、日々の業務に取り組んでいます。

疑問や不安に感じる事など、どんなことでもお気軽にお声掛けください。



忘年会を開催しました

12月18日(火)にホテルエミシア札幌にて病院忘年会を開催し、職員、来賓合わせて110名が参加し盛大な会となりました。

馬場理事長の挨拶から始まり、神吉院長の乾杯のもと、忘年会が始まりました。

毎年忘年会で行われる20年・10年勤続表彰では計10名の職員が表彰され、日頃の努力と成果がねぎらわれました。和やかな雰囲気の中、各テーブルにて談笑が進んだところに3組の余興が始まり、工夫を凝らした出し物にみな笑顔で、会場も大いに盛り上がりました。

全員参加のビンゴ大会のあと、最後に清水副院長より締め挨拶があり、楽しい余韻も残るなかで閉会となりました。

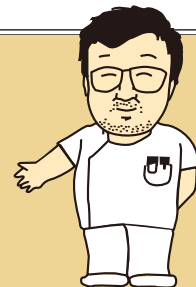
新たに迎える1年に向け、みなで語り、笑い、今年の労をねぎらいたいへん充実した会となりました。



金博士の

『本音で語ろう』⑦⑥

“咳と礼儀”



ずっと以前に掲載したのですが、季節柄、再度取りあげます。

インフルエンザや風邪の季節です。街に出かけると平気で咳をする人が少なくありません。咳やくしゃみをする周囲にウィルスや細菌が飛び散ります。とくに、くしゃみは最大で3メートルまで達します。電車の中などでは、できるだけ咳をしないのが良いのです。出るものは仕方がないと思われるでしょうが、咳やくしゃみを最小限にとどめ、しかも自分の体調を改善する方法はあります。人が集まる場所に入る前には必ずわざと咳をして、できるだけ痰をはき出してしまうことです。トイレの中などがよいでしょう。痰が胸の中に溜まると咳を我慢しづらくなるからです。

ウィルスや細菌が最も増えやすいのは、痰があるからです。咳をして痰を出しやすくするためには、お腹の中から思い切り咳をすることが大事です。ペットボトルなどの水を飲んでのどをうるおしてから咳をすると、より痰を排出しやすくなります。痰を出しきってすっきりしたら、ペットボトルの水でうがいをして一仕事完了です。また咳が出そうになったり、痰がからんで来たと思ったら、すみやかにこの作業を何度でも繰り返しましょう。

今、新型ウィルスの脅威が叫ばれています。その時に備えるために最も基本的なことは、人に迷惑が及ばないようにし、自分自身の回復も早めるこのような作業をいとわず実施することが大事なのです。

最後に秘訣を教えます。咳が聞こえた瞬間にご自分の息を止めて、3メートル遠ざかるのです。では、お大事に！

総合診療科 金 有世

お知らせ

DPCデータに基づく病院指標を 当院ホームページに公開しています

当院ではDPCデータから全国統一の定義と形式に基づいた指標を作成し、ホームページ上にて、患者さまをはじめ皆さまへの情報公開を行っています。

この病院指標の公開は、患者数や在院日数等を具体的に数値化することで、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。



当院ホームページのトップページ右下
「新札幌循環器病院 病院指標」をクリック 

外来担当医診療予定表 (平成31年1月10日現在)

	月			火			水			木			金			土		
午前	予約制	予約制		予約制	予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制			
			腎臓内科 総合内科			総合診療	出張医			出張医				禁煙 静脈瘤		医師交代制		総合診療
	縄手	山田	清水	縄手	馬場	金	北大 納谷	神吉	大坪	縄手	馬場	大坪	北大 鎌田	佐々木	神吉	山田	金	
午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		予約制	予約制		予約制	予約制	予約制	予約制			出張医		
			腎臓内科 総合内科			腎臓内科 総合内科			北大	出張医	出張医	出張医		腎臓内科 総合内科	出張医			
	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪	清水	佐々木	馬場	北大 納谷	佐々木	山田	北大 鎌田	消化器科 第2,4週 3:00迄	藤井	清水	佐藤		

診療受付時間

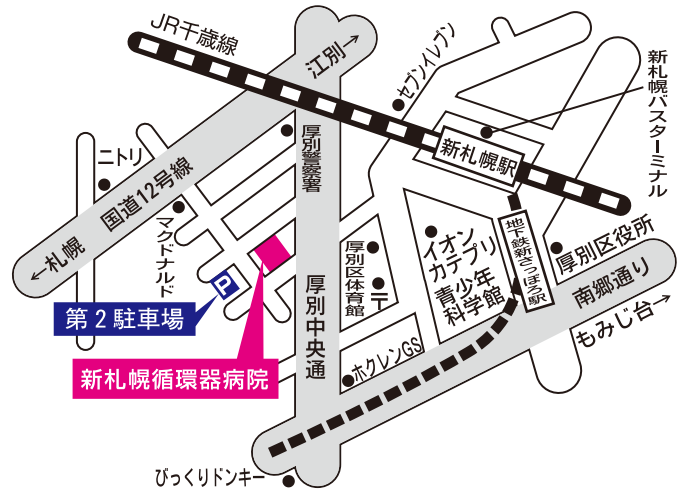
平日	午前	8:45 ~ 11:30
	午後	1:30 ~ 4:30
土曜日	午前	8:45 ~ 11:30

- * 新患受付時間 午前 8:45~11:00
午後 1:30~3:30
- * 土曜日は午前だけの診療となります。
- * 循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。

診療科目

- 心臓血管外科 人工透析内科
- 循環器内科 胸部外科
- 腎臓内科 リハビリテーション科

病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号
TEL 011-892-1556

■ 地下鉄 (5番出口) ・ JR ・ バスターミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後 2:00 ~ 午後 8:00 / 土日祝 午前 11:00 ~ 午後 8:00



お車で
ご来院の
患者様へ

病院横駐車場 (18台) / 第2駐車場 (18台)

- ・ 当院駐車場に隣接して月極駐車場がございますので、お間違えないようご確認ください。
- ・ 近隣住民の方々へご迷惑となりますので、駐車場内ではエンジンをお切りください。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。 <http://www.sshoc.jp>